

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）会議録
開催日時	平成31年2月7日（木）午後2時から午後4時まで
開催場所	保谷庁舎2階 会議室
出席者	委員：服部議長、攝賀副議長、岩崎委員、内田委員、川原委員、木下委員、沼本委員、長谷川委員、原委員、矢野（真）委員 事務局：堀主幹、青木主事
議題	(1) 社会教育行政のあり方について (2) 西東京市生涯学習推進指針について (3) その他
配付資料	資料1 起草委員会における検討メモ（第3回） 資料2 （草稿）今後の社会教育行政の運営体制について（提言） 資料3 西東京市生涯学習推進指針（改訂案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成31年1月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p><b>（1）社会教育行政のあり方について</b></p> <p>○議長：前回の社会教育委員の会議では、起草委員会の検討メモをもとに議論を行った。それを踏まえて2月に再度起草委員会を開催し、本日、検討いただくための草稿を作成した。 資料2として配布しているので、一度目を通していただき、意見をいただきたい。まず「はじめに」の部分に関してはいかがか。</p> <p>○委員：「基礎自治体における」から始まる段落については、文末が「社会教育行政担当部局以外でも広く行われてきた取り組みであったためである。」で終わっている。これでは、社会教育について、すでに社会教育課以外の課でも取り組んでいるため問題ないと認識されてしまうのではないか。 「社会教育に係る全庁的な取り組みを整理、再評価し、西東京市における社会教育の充実を推し進めていくことが必要である」と考える。」のようにまとめてみてはどうか。 少し言い過ぎかも知れないが、「首長部局と一緒に社会教育に係る取り組みを整理、再評価し、西東京市における社会教育の充実を推し進めていくことが必要である」と考える。」くらいでも良いと思う。</p> <p>○委員：社会教育の定義については、法的定義では読み手の理解が難しいと思う。 読み手の理解が得られるような表現ができないか。</p>	

- 委員：社会教育法の第二条を基に説明しようとする、読み手にわかりやすく表現するのは難しいと思う。  
そのため、社会教育に関する解説書のようなものから引用した方が読み手の理解は得られやすいのではないか。
- 議長：「1 今後の社会教育行政に求められるもの」について、何か意見はあるか。
- 委員：「人生100年時代」の意味するところは、長い人生の中でどう人生設計を行うかということかと思う。そして、人生設計には学習計画が付随すると言われている。その中で自発的に学習計画を立てることができない人をどのように地域に取り込み、学習機会を持つことができるようにするかが行政課題なのではないか。  
人生100年時代という言葉を盛り込むのであれば、「行政が地域との連携や公民館等の活用を通じて、学習機会を提供し、人材の育成や人と人の繋がりなど、地域の豊かさを創生していく」という視点は重要になってくるのではないか。
- 委員：自発的に学習計画を立てることができない人に対しては、行政はどのようにアプローチすることができるか。
- 委員：行政として重要なことは、情報や学習場所の提供など、環境を整備することであると思う。
- 委員：若い世代、高齢者に関わらず一人で生活していくのがやっと、という人が増えていくと聞いた。  
このような人は社会から取り残され、地域とのコミュニケーションも希薄になってしまうと思う。  
ラジオ体操などどんなきっかけでも良いと思うが、情報提供を通じて社会参加のきっかけづくりを行うことが重要であると感じている。
- 議長：「2 今後の施策の方向」の部分に関して何か意見はあるか。
- 委員：起草委員会の検討メモに小学校区を地域として捉えるとあるが、その理由を明示した方が良いのではないか。
- 議長：小学校区を地域として捉えた理由としては、今後、地域学校協働活動という学校を核とした地域づくりを進めていく必要性が高まってくるであろうことに加え、防災的・距離的な視点からも子どもを含め、多くの人が足を運び、関わるができる身近な施設であることが挙げられる。そのような視点を提言に盛り込むことができれば良いのではないか。

- 委員：「健康長寿社会への寄与」の部分では、人生100年時代という文言を盛り込んだ方が良いと思う。
- 委員：健康長寿のために必要な3つの要素として、「運動・栄養・社会参加」とあるが、社会参加のみ意味合いが広いように感じる。「運動・栄養・学習」を含めて社会参加というように、表現は工夫が必要であると考えます。
- 議長：皆さんの意見を踏まえて、起草委員会で検討し、提言のまとめに向けて進めていきたい。

## (2) 西東京市生涯学習推進指針について

- 事務局：西東京市生涯学習推進指針（改訂案）に沿って説明。  
今回の改訂では、指針の対象期間である平成26年度から35年度の間年あたりにあたる平成30年度に、これまでの取組を整理するとともに、法改正を含め、新しい動きを踏まえた情報の更新を行う。  
また本指針は、各課が生涯学習に資する事業を進めていくにあたって、理念と方向性を示すものであり、具体的な事業内容等については、個別計画に定めることとしている。
- 委員：「人生100年時代をより豊かに生きるための学び直し」とあるが、「人生100年時代をより豊かに生きる」と「学び直し」はイコールではないため、表現を変えた方が良いと思う。
- 委員：少子高齢化の部分では、少子化について触れられていないが、担当課も含め少子化を感じているか。
- 事務局：最新の市の人口推計によると、今後の年少人口は、平成31年に24,812人に増加し（構成比は12.3%）、その後減少傾向となっている。また、平成35年の年少人口は24,304人、構成比は12.0%と年少人口及び構成比の減少幅は比較的緩やかとなっている。一方で、老年人口は平成31年で48,428人、構成比は23.9%に対して、平成35年では49,613人、構成比は24.5%と増加が予測されている。現在、少子化により学校の教室が余っているということはなく、むしろ教室が不足し、増改築等により対応している学校もある。また、保育園が不足しており、認可保育園の開設を進めているが、保育園を卒園した子どもたちの受け皿となる学童クラブの定員が超過している状況である。
- 事務局：その他、何か意見や質問等があれば、社会教育課までお寄せいただきたい。

(3) その他

※年度内の会議スケジュールについて

- ・ 3月29日（金）午後2時から  
保谷庁舎 1階会議室にて追加で開催。

※次回会議 2月21日（木）午後1時30分  
保谷庁舎別棟 C会議室